

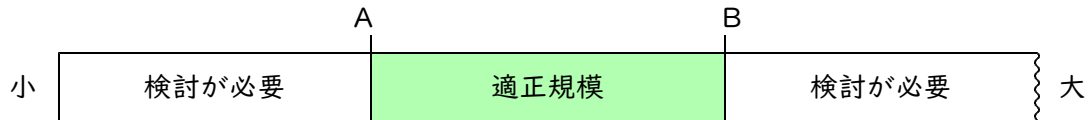
資料 9-①

本市の適正規模について

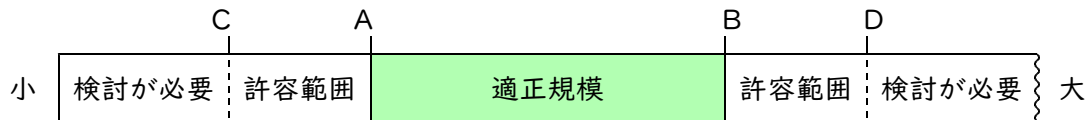
○適正規模の考え方について

$\left(\begin{array}{c} \text{各学年} \\ \text{or} \\ \text{学校全体} \end{array} \right)$ の $\left(\begin{array}{c} \text{学級数} \\ \text{or} \\ \text{児童生徒数} \end{array} \right)$ の $\left(\begin{array}{c} \text{範囲} \\ \text{or} \\ \text{下限} \end{array} \right)$ を考える。

(案1) 「適正規模」を定め、範囲外を「検討が必要な規模」とする。



(案2) 「適正規模」と「許容範囲」を定め、範囲外を「検討が必要な規模」とする。



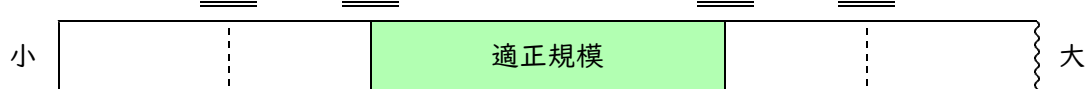
・規模に関するメリットとデメリットを【資料10-①、②】にまとめてあります。

○小学校

※文部科学省の表現

各学年	(複式)	1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級					
全体	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30	33	36
		下記参照	標準			大規模※		過大規模※				
全学年でクラス替え・複数教員を配置できる												
		6		7		8		9		10		11
		複式学級とならない (1学年9人は必要)		1つの学年で クラス替えできる				半分の学年で クラス替えできる				

あなたの考え



メモ

資料 9-②

○中学校

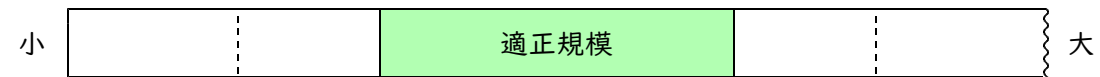
※文部科学省の表現

各学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
全体	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30	33	36
	下記参照			標準			大規模※			過大規模※		

教科担任による学習指導が行える

3	4	5	6	7	8
複式学級とならない (1学年5人は必要)	1つの学年で クラス替え可	半分以上で クラス替え可	全学年で クラス替え可		

あなたの考え



メモ

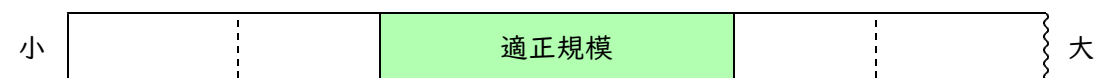
○義務教育学校

各学年	(複式)	1学級	2学級	3学級	4学級							
全体	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30	33	36
	下記参照			標準								

全学年でクラス替え・複数教員を配置

9	10	11	12	13	14
複式学級とならない (1学年9人は必要)	1つの学年で クラス替えできる				半分以上の学年で クラス替えできる

あなたの考え



メモ